

北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました（国内1例目）

本日（10月17日（木曜日））北海道の家きん農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（今シーズン国内1例目）が確認されました。

【発生概要】

事例	場所	用途	羽数
1例目	北海道厚真町	肉用鶏	約19,000羽

生産者及び関係者の皆様におかれましては発生予防のため、特に下記項目の確実な飼養衛生管理に努めてください。また本病早期発見／まん延防止のため「まとまった場所での家きんの死亡」、「死亡率増」、「産卵低下」等の異状を認めた場合、すぐ当所へ通報願います。

記

- 衛生管理区域及び家きん舎に立ち入る際の手指消毒
- 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置、使用
- 衛生管理区域に入る車両の消毒
- 家きん舎ごとの専用の靴の設置、使用
- 野生動物の侵入防止のため防鳥ネット、壁や屋根の破損の修繕
- ねずみ及び害虫の駆除

更なる予防

- ★こまめに鶏舎周囲に消石灰を散布し、上から散水/噴霧する
- ★踏込消毒槽は汚れたら交換し、長靴は汚れを落として消毒する
- ★ウィンドウレス鶏舎の空気流入口に目の小さなネットをつける（目詰まりによる換気不足には注意してください）

長崎県南家畜保健衛生所 TEL：0957-68-1177

防疫課メールアドレス：s11350@pref.nagasaki.lg.jp

※土日祝日の休庁日は上記電話番号に連絡願います。

